

乳癌登録を用いた研究課題 (2015.12.14 更新)

- 1) 乳癌治療の均てん化を目指した研究 (予後解析小委員会)
- 2) 日本版 **Adjuvant Online!** の作成に向けた研究 (予後解析小委員会)
- 3) **QI** を用いた乳癌診療ガイドラインの評価 (**QI** 小委員会、登録委員会)

2014 年度に採択された研究

- 4) **NCD** 乳癌登録を用いた術前化学療法における **ER,PgR,HER2** の変化の検討 (研究代表者: 東海大学 新倉直樹) **ASCO 2015**, **2015 年乳癌学会学術総会**、**ESMO Asia 2015** で発表 **Annals of Oncology** に掲載予定
- 5) **NCD**・乳癌登録を用いた乳がん患者における **BMI** と再発・死亡リスクとの関連 (研究代表者: 宮城県立がんセンター 河合賢朗) **2015 年乳癌学会学術総会** で発表
- 6) 日本乳癌学会全国乳がん患者登録調査による若年性乳癌の予後解析結果 (研究代表者: 癌研有明病院 片岡明美) **2015 年乳癌学会学術総会** で発表
- 7) 検診発見乳がんの生物学的特徴 (研究代表者: 岡山大学 岩本高行) **SABCS 2015** で発表

2015 年度に採択された研究

- 8) **cT1-3/NO-1** 乳癌術前化学療法奏功例に対する乳房切除後放射線療法の有用性に関する検討 (研究代表者: 東北大学 宮下 穰)
- 9) ホルモン陽性乳癌における周術期化学療法の意義の検討 (研究代表者: 国立がん研究センター東病院 北條 隆)
- 10) 乳癌サブタイプ別にみる治療の実際とその効果: 腫瘍径が **1cm** 以下の **HER2** 陽性乳癌の検討 (研究代表者: 九州大学 久保 真)